

BRAIN and NERVE 2024 年 8 月号

特集

Common disease は神経学の主戦場である
— revisited

鼎談 脳神経内科は common disease を診ているか

下畑享良, 高尾昌樹, 神田 隆

認知症診療における脳神経内科医の役割

森 悦朗

脳卒中の現場における脳神経内科医の存在意義

出口一郎, 高尾昌樹

てんかん

赤松直樹

頭痛診療の進歩と展望

永田栄一郎

Common disease としてのめまい

— 危険度で考える

福武敏夫

末梢神経障害(しびれ)

— 神経・筋疾患の「総合診療科」としての役割

古賀道明

総説

Tumefactive demyelinating lesions

水本悠希, 安部鉄也

スティッフパーソン症候群

— 初の全国疫学調査結果を踏まえた現状と課題

松井尚子, 他

連載

スーパー臨床神経病理カンファレンス

第7回 小児期に発症し、著しい脳萎縮を呈した42歳男性

水谷真志, 他

原著・過去の論文から学ぶ

第5回 マリー失調症を巡る missing links

— つながった link とまだつながらない link

内原俊記